

研究主題 「特別の教科 道徳における自己マスタリーの育成」

～心が動く道徳授業の実践～

入間市立豊岡小学校

1 研究主題の設定理由

令和元年度・2年度は、特に「Listen&Talk」をテーマにし、日々の授業を大切に実践に取り組んだ。その結果、毎週の道徳の授業を、子供も教師もより楽しみにするようになってきた。そのことを受け、令和3年度は「子供も教師も楽しい授業」をテーマにし、「学習者準拠・議論に没入・新たな気づき」の3つの視点を重視し、授業実践を行ってきた。

これまでの研究から、児童が問題意識をもち、自分自身に関わりがあることとして考えられる学習展開を工夫すれば、児童がのめり込んで本気で考えるようになり、そのような授業を意識して行っていくことで、心が動く道徳授業となっていくことがわかってきた。そのため、令和4年度は令和元年度からの研究の流れを受け継ぎ、学びをみとるノートの活用も意識しながら、心が動く道徳授業の実践を行っていく。

2 研究の仮説

道徳において、児童が問題意識をもち、自分自身に関わりがあることとして考えられる学習展開の工夫をすることによって、議論が活発になり、新たな気づきが生まれ、自己マスタリーの育成につなげることができるであろう。

3 研究の経過

月	研修の種類	研修の内容
4	①共通理解研修 研究主任による示範授業	○研究の進め方について共通理解、研究の手だてについての確認、教材研究のポイントの説明と
	②全体研修	○今年度の重点の説明
5	③全体研修	○道徳だよりの発行
6	④全体研修	○第1回部会
	⑤示範授業（4-1）	○研究主任による授業
7	⑥示範授業（3-2）	○研究主任による授業
	⑦全体研修	○第2回部会
	⑧ブロック研修	○指導案検討・授業準備
8	⑨ブロック研修	○授業準備

埼玉県道徳教育研究推進モデル校 実績報告書

9	⑩ブロック研修	○模擬授業
10	⑪ブロック研修 ⑫ブロック研修	○第1回道徳授業研究会（低学年） ○第2回道徳授業研究会（高学年）
11	⑬研究発表会	○授業公開（低・中・高） ○研究協議会 ○押谷由夫教授による講演会
1	⑭全体研修	○成果と課題について検討
2	⑮全体研修	○次年度研修計画立案

4 研究の内容

(1) 毎週の「特別の教科 道徳」を大切にした授業実践

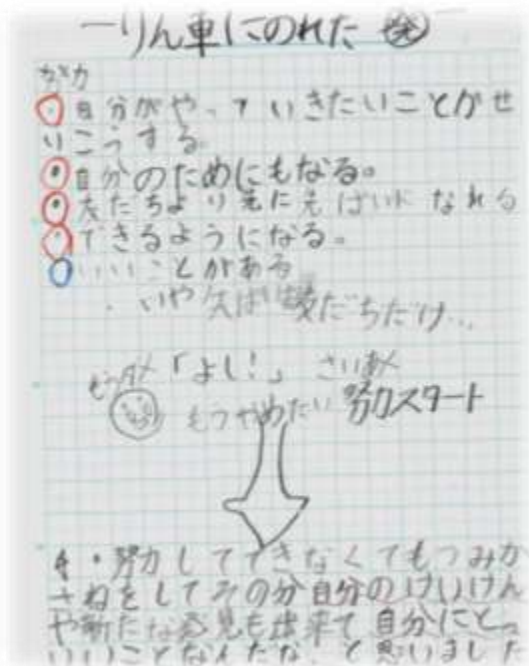


中学年彩の国の道徳
「草むしりボランティア」の授業

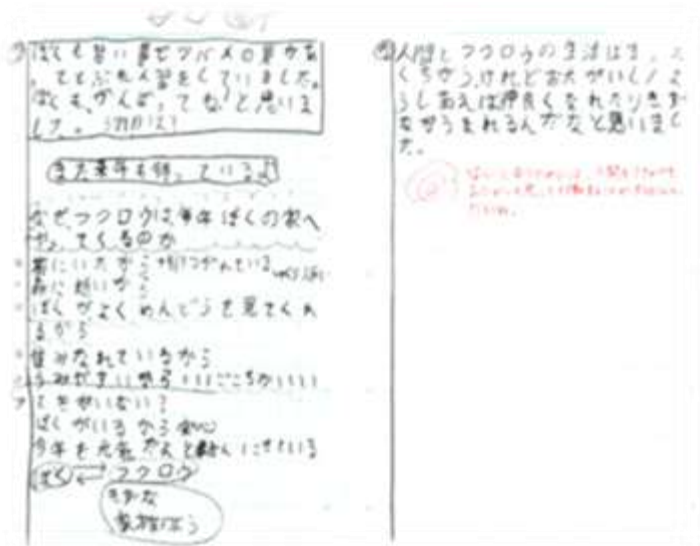


低学年彩の国の道徳
「かくれんぼ」の授業

(2) 道徳ノートへの活用



・学習の足跡を残すことができ、
 児童自身も自分の考えの変容
 に気がつくことができる。ま
 た、教師も児童の思考を見取る
 ことができる。



・同じ内容項目で授業をするときに、児童も自分の考えを振り返ることができ、教師も児童の考えを比較することができる。

(3) 板書の工夫



板書は児童の思考の交通整理であることを意識して行う。最後の振り返りは、児童が板書を見ながら書けるよう、板書の流れを工夫する。

(4) 道徳コーナーの充実



教室の道徳コーナーの充実・・・特別活動など、他の教育活動との関連も意識する。

埼玉県道德教育研究推進モデル校 実績報告書

(5) 保護者に向けた授業の様子を発信する道德だよりの発行



授業での児童の発言などを取り上げ、学校と家庭が連携して道德教育を行っていけるようにする。

(6) 部会（教育調査部・環境整備部）による活動



職員室前には、全学年の道德の板書を掲示し、更新していく。



廊下の掲示板上にも道德コーナーを設け、全ての児童や保護者が見られるようにする。

5 研究の成果と課題

- (1) Listen&Talk（話し合うことを中心とした授業）の取り組みにより、自分の考えを話したり、友達の話を聞いたりすることが楽しいと感じている児童が多いことが、道德アンケートから明確になった。
- (2) 「規律ある態度」達成目標アンケートで、令和4年5月と令和5年1月の数値を比較すると、話を聞き発表する「88.7%→93.1%」集団の場合での態度「93.9%→96.5%」などの項目で向上が見られた。
- (3) 授業後の振り返りには、自分の生き方について考え、なりたい姿を記す児童が増えてきた。
- (4) ノートに書く時間と話す時間の配分が課題に挙がった。
⇒書きながら話し合うのではなく、書く場面と話す場面を明確に分ける。
- (5) 道德の授業を楽しんでいる児童が多くいる反面、苦手意識をもっている児童もいる。
⇒児童が興味関心をもつ導入や、考えたいと思うような発問を工夫する。
- (6) 道德の授業で学習した内容を「実践することができた」と感じている児童が少ない。
⇒授業後にも振り返りを行い、実生活と結び付けていく。